

介護ロボット等導入支援事業補助金 交付実績

年度	サービス種別	内容	機器名	導入効果
令和6年度	居宅介護支援	介護ソフト	ほのぼほNEXT 「ほのぼのクラウド」	利用者の進捗状況、アセスメントやプランの作成状況を管理でき、負担軽減と時間の効率化を図れている。 FAX送信機能により紙面印刷の必要がなくなり、印刷コストと業務時間短縮につながっている。 国保連への請求時にエラー情報が表示されるため、返戻を防ぐことができる。 システムの設定により、災害・ウイルス等からデータ保護がなされ、BCP対策としても有効である。
	居宅介護支援	タブレット端末等	ipad mini	コミュニケーションツールとして、他部署との報連相が密にできる。 テレビ電話等により移動負担が減り、交通費等の支出軽減、業務のパフォーマンス向上につながった。
	居宅介護支援	クラウドサービス	Chatwork	職員間の情報共有が一斉に時間・場所を気にせずできる。 ペーパーレス化（約30%減）につながった。 情報伝達の漏れ、二重報告が削減され、事務時間の短縮など効率化が図れている。
	認知症対応型通所介護	クラウドサービス	Chatwork	職員間の情報共有が一斉に時間・場所を気にせずできる。 ペーパーレス化（約30%減）につながった。 情報伝達の漏れ、二重報告が削減され、事務時間の短縮など効率化が図れている。
令和7年度	居宅介護支援	介護ソフト	AiNote	訪問記録や会議内容など、紙面に記録した内容を帰所後に管理ソフトに入力していたが、本ソフト導入により自動で文字起こしがなされるため、時間短縮、業務の質向上等ができた。 短縮した時間を他業務に充てることができ、加算の取得につながった。
	通所介護	タブレット端末等	ipad Wi-Fiモデル	以前はメモを取り、後でPCに入力していたが、タブレットに直接入力できるようになったことで、転記ミスがなくなり、記録の正確性などの業務に質が高まり、負担軽減に大いに役立った。 利用者家族とのコミュニケーションでLINEアプリを活用することで、迅速な情報共有及びデータでのお便りの送付が可能となり、ペーパーレス化にも成功した。
	認知症対応型通所介護	タブレット端末等	ipad Wi-Fiモデル	以前はメモを取り、後でPCに入力していたが、タブレットに直接入力できるようになったことで、転記ミスがなくなり、記録の正確性などの業務に質が高まり、負担軽減に大いに役立った。 利用者家族とのコミュニケーションでLINEアプリを活用することで、迅速な情報共有及びデータでのお便りの送付が可能となり、ペーパーレス化にも成功した。